

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓小児科では、東京都立小児総合医療センターが実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 小児腎移植後患者の成長ホルモン注射の使用実態と使用量

[研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京都立小児総合医療センター 総合診療科、腎臓・リウマチ膠原病科 幡谷浩史

本研究に関する問い合わせ先：東京都立小児総合医療センター 総合診療科、腎臓・リウマチ膠原病科 幡谷浩史

電話：042-300-5111（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

2023年4月1日時点で16歳以下の、当院で腎移植を受けた患者さんで、2年間以上のフォローアップを受けている患者さん

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：腎不全に至った原疾患名、年齢、性別、移植日、既往歴、腎疾患以外の併存疾患名、移植腎の種類（生体腎移植または献腎移植）、最近1年間の免疫抑制薬使用歴、移植拒絶反応の有無とその時期、調査日およびその時点での身長、血液生化学検査のデータ、二次性徴（Tanner分類）、レントゲン画像における骨端線閉鎖の有無、成長ホルモン治療の有無、成長ホルモン治療を行っている場合はその使用量と使用開始日・終了日、成長ホルモン治療を行っていない場合はその理由、成長ホルモン治療によると思われる合併症の有無  
腎移植時および移植後1年毎の身長・体重・血清クレアチニン値、ステロイド使用の有無とその種類・投与量

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

腎移植を受けている小児の患者さんにおける、成長ホルモンについての使用実態とその使用量の解明を目的とした研究実施

[研究資金]

研究代表者が所属する診療科の研究費と、ノルディサイエンス研究助成金によって実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児総合診療科 泊 弘毅
2. 東邦大学大森病院 腎センター 濱崎 祐子，宍戸清一郎

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

提供方法： 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

研究代表機関の倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないよう加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

責任者：東京女子医科大学 腎臓小児科 教授 三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓小児科 教授 三浦健一郎

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水治